

おおくらだより



令和5年7月3日

(文責) 北九州市立大蔵小学校 校長 増田 知夏子

【学校教育目標】

「心身ともに健康で、
知・徳・体の調和のとれた
自主的で実行力のある児童」の育成

避難訓練実施

5月には火災時の避難訓練を行い、6月は水害時の避難訓練を行いました。本校の避難訓練では、「お(押さない)・か(かけない、走らない)・し(しゃべらない)・も(戻らない)」をキーワードにして指導しています。訓練開始前には、「火事・水害(洪水・土砂崩れ)が起こるとどんなことが起こるでしょうか。」と各学級で児童に問いました。また、「正しい避難の仕方はどのようにするといいだろう」というめあてのもとに、避難経路の確認や、「おかしも」の約束や、火災は火だけではなく煙も恐ろしいこと、などを事前に学習しました。災害は、発生場所や日時が限られていないため、臨機応変に対応することが求められます。日頃から、先生やお友だちの話をきちんと聴く姿勢がとても大切なのは、このような緊急時に命を守るためでもあります。また、学校では、200人を超える集団で動くため、いろんな決まり事を日頃からきちんと守ることも、緊急時に役立ちます。万が一の子どもたちの安全を確保するためにも、ご家庭でも是非、日頃からお話を聴く姿勢が守れているかどうか話題にしてみてください。

6月23日は沖縄「慰霊の日」

6月23日は沖縄「慰霊の日」でした。「慰霊の日」にちなんで、23日の献立は沖縄の郷土料理(にんじんしりしり、沖縄そば、冷凍パン、黒砂糖パン)でした。前夜祭に参列された方が「戦争は絶対にしてはならない。人間は知恵を使って生きていかななくては。」とおっしゃっていました。大蔵小学校の児童のみなさん、考えてみてください。周りで「けんか」や「もめごと」は起きていませんか。また、自分が加わってはいませんか。「けんか」や「もめごと」から学ぶこともたくさんありますが、人を傷つける行為は絶対にしてはいけません。人の心や体に傷をつけてから「そんなつもりじゃなかった」は通用しません。また、「相手が悪いから」と主張しては終わりがありません。相手を許す気持ちをもって、仲良く過ごしましょう。

帽子・水筒・タオル

気温が高い日が続く季節になりました。朝休み・中休み・昼休みに運動場で遊ぶときには、必ず帽子(紅白帽子も可、1年生は黄色い帽子)をかぶって、水筒を持たせるようにしています。ただ、登校時も気温が高い日があるので、できれば家を出るときからかぶってきてもらえたらと思っています。湿度の高い日もありますので、小さいタオルなどを持たせてください。

【#^.^#】突然ですがここで、大蔵小学校のステキな児童の紹介をします【#^.^#】

運動会が近くなり、私が校庭の草抜きをしていたところ、「手伝います!」と進んでかけよってきてくれた6年生が何人もいました♡「フレイフレイ校長先生!」とエールを送ってくれた6年生もいました【^^】子どもたちは素手だったので、「気持ちだけ受け取るね」と伝えましたが、本当に本当にうれしかったです。みんなすくすく立派に成長しています。

思いやりのある子どもたちに囲まれて毎日幸せです【^-_-】☆

規範意識育成教室実施

6月28日(水)に規範意識育成教室を行いました。福岡県警察本部少年課少年サポートセンターから3~6年生向けにお話に来てくださいました。保護者の参加もあり、関心の高さが伺えました。

「盗み」を続けてしまう子どもたちは、心に穴があいていて、隙間風が吹いているような言い、その寂しさから盗みをはたらき、「物を盗むと心が温かくなる」と言うのだそうです。「物」で満たされるのは一瞬だけです。子どもたちの心の穴を埋めるには、おうちの方とのコミュニケーションが一番です。子どもたちは人のかかわりを多く求めています。帰ったら、学校での話をたくさん聞いてあげてください。携帯電話やゲーム機を与えると、子どもたちは楽しそうにしていますが心の穴は埋められていないそうです。

また、SNSトラブルのお話もありました。正しく使えば、楽しく便利なものですが使い方を知らない子どもたちには危険が多く潜んでいるものになります。誤情報に振り回されることもあるでしょう。「便利だから」とか、「みんなもってるから」「制限をかけているから」と言って持たせることは果たしてどうでしょうか。

よく「スマホを持たせてから親子喧嘩が増えた」「トイレやお風呂にまで持ち込んで会話がなくなった」「朝、なかなか起きない」などと困っている保護者から相談を受けることがあります。小さい機器は布団に持ち込んで朝まで使うこともできます。幼いころからゲームに熱中し、内斜視の子どもが増えている、という話も聞きます。インターネット上では、子どもたちは、被害者になるだけでなく、加害者にもなりうることをよくお考えください。

保護者の方と同じで、学校も全児童を守りたいと考えています。

どうぞ、今一度、家庭内でのルールの見直しをお願いします。